

第1学年生活科学学習指導案

日 時 平成25年7月3日(水) 5校時
場 所 ふれあいホール
児童数 10名
指導者 小田島 恵利子

1 単元名 「きれいにさいてね たくさんさいてね」(あたらしいせいかつ上 東京書籍)

2 単元について

(1) 教材について

本単元は、学習指導要領(7)「動物を飼ったり植物を育てたりして、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心を持ち、また、それらは生命をもっていることや成長していることに気付き、生き物への親しみを持ち、大切にすることができるようにする。」に重点をおいて設定したものである。

本単元では、栽培活動をとおして、野菜の世話や成長に関心を持ち、大切にしようとする心を育てたいと考えた。栽培活動をとおして、友達や教師とのかかわりを広げながら、季節による植物の成長に気付かせることにより、身近な自然に親しみを持ち、大切にしようとするのをねらいとしている。

(2) 児童について

本学級の児童は、不思議なことやわからないことに対して興味をもって学習する積極性も持っている。児童は、校庭や通学路、公園などの春探しに出かけ、身近な自然と触れあう活動を行ってきた。その中で、樹木や草花、虫などの自然に直接触れながら、見る・においをかぐ・触れるなどの諸感覚を使って気付いたことを教師や友達に話したり、友達から教えてもらったことを自分でやってみたりするなど、意欲的に自然にかかわろうとする姿も見られた。

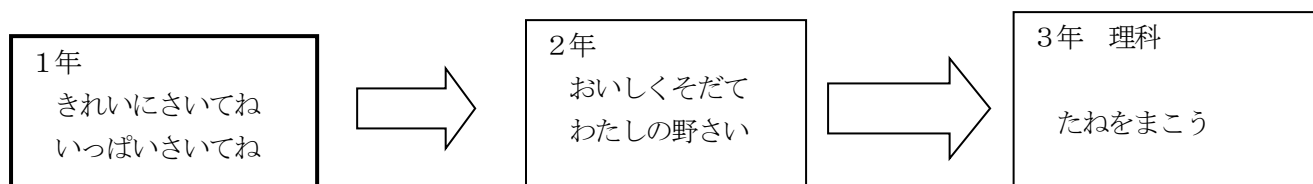
一人一鉢の植物の栽培に関しては、「どのように育っていくか」「どんな花がさくか」など意欲的にお世話をする姿がある。また、育てた花を家族や友達に見せたいという気持ちを持ち、全員が成長を楽しみにして活動している。

(3) 指導について

本単元では、ひとり一鉢のあさがおの栽培と、春から秋に学校周辺の草花や葉と触れあう活動を通して、子どもたちひとり一人の情緒的なかかわりを大切にしながら、身近な植物と体験的・継続的にふれあわせたい。そのような活動を通して、子どもたちにそれらが自分と同じように生命をもって日々成長していることに気付かせ、親しみや愛着をもって大切にしようという態度を育てていきたい。

1年生の栽培活動は5月から11月まで長期間である。長期間にわたって対象とくり返しかわる活動を設定することによって、子どもは対象を自分と同化させてとらえたり、親しみや慈しみの心をもって接したりする姿へと変容していくようにさせたい。

(3) 学習の関連



3 単元の目標及び評価規準

目 標	植物を、大切に、継続的に育てていくことを通して、それらの変化や成長の様子に気付くとともに、それらに親しみを持ち、適切に世話を続けることができる。
評 価 規 準	【生活への関心・意欲・態度】 植物の変化や成長を楽しみにしながら、親しみを持ち、進んで世話をしようとしている。
	【活動や体験についての思考・表現】 植物の変化や成長に合わせて、水や肥料などの世話の仕方を考えて適切にかかわったり、成長の様子やその喜びなどを振り返り、それを素直に表現している。
	【身近な環境や自分についての気付き】 植物の変化や成長の様子に気付くとともに、植物も自分と同じように成長していくことや、自分が大切に世話をした植物が成長する喜び、世話を続けることの楽しさなどに気付いている。

4 単元の指導計画及び評価計画（11時間扱い）

小単元名	時 数	主な学習活動	評価規準・評価方法
たねをまこう	2	<ul style="list-style-type: none"> 栽培する植物を選び、たねや鉢、土などを準備する。 土を耕したり入れたりして、たねまきの準備をする。 植物のこれからの成長に願いをもって、たねをまく。 	<p>【関】 花が咲く植物がいろいろあることに関心を持ち、大切に育てようとしている。 [会話]</p> <p>【気】 植物の種類によってたねの様子が違うこと、自分が育てる植物やまく場所に合ったたねのまき方があることなどに気付いている。 [会話]</p>
まいにちせわをしよう	2 本時 1/2	<ul style="list-style-type: none"> 世話の仕方を話し合う。 世話の仕方を聞いたり、図鑑で調べたりする。 支柱立てや草取り、施肥など、成長に合わせて継続的に世話をする。 成長の様子や世話の様子などを記録カードなどに表現し発表する。 	<p>【思】 植物の変化や成長について考え、水や肥料、支柱立てなどを工夫しながら世話をしている。 [行動・つぶやき・記録]</p> <p>【気】 物に生命があることや成長していること、適切な世話の仕方があることに気付いている。 [記録]</p>
はなをさかせよう	2	<ul style="list-style-type: none"> 開花を喜び、その喜びを絵や文などで表現し、友達や家の人などに伝える。 	<p>【思】 花の美しさを残したり、開花の喜びを伝えたりするための方法を</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・花で遊んだり、開花した花を美しく残すための作品をつくったりする。 	<p>考え、作品をつくったり、絵や文で表現したりしている。</p> <p>[つぶやき・行動]</p> <p>【気】 花が咲くまで、自分が頑張っ て世話を続けてきたことに気付いて いる。 [会話・記録]</p>
たねとりをし よう	5	<ul style="list-style-type: none"> ・たねとりをする。 ・たねのことや、これまでの世話などにつ いて振り返り、作品などにまとめる。 ・集めたたねの使い方について話し合う。 	<p>【関】 たねの色や形、大きさ、数など に関心をもち、進んでたねとりを しようとしている。 [会話・行動]</p> <p>【思】 育てた植物のことやこれまでの 世話などについて振り返り、植物 を育てることの喜びや楽しさ、そ の難しさを表現している。</p> <p>[発表・行動・作品]</p>

5 本時の指導

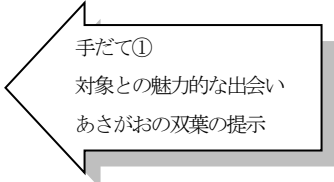
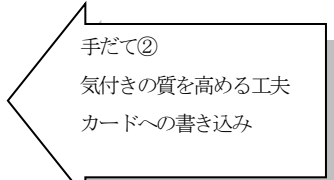
(1) ねらい

自分の育ててきた花の様子について振り返り、植物への親しみを味わわせることによって、継続して世話をしていくことの大切さに気付く。

(2) 仮説にかかわって

手だて① 対象との魅力的な出会いの工夫	種の実物と育ててきた鉢を比べたり写真を提示したりすることによって、成長や変化に気付かせる。
手だて② 気付きの質を高める工夫	自分が育ててきた花の様子を振り返ることによって、愛着をもって栽培活動ができるようにさせる。

(3) 展開

段階	学 習 活 動	児 童 の 反 応	指 導 上 の 留 意 点
つかむ 8分	1 学習問題をつかむ あさがおの世話についてふりかえり、これからの世話のめあてをきめよう。	<ul style="list-style-type: none"> 芽が出た時は、こんなに小さかったんだね。 今は、はっぱもたくさんふえた。 毎日水やりをしてよかったな。 夏休みにはどんな世話をすればいいのかな。 夏休みには、きれいなお花をおうちの人に見せたいなあ。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の写真を手がかりとして、イメージ化を図る。  <ul style="list-style-type: none"> 今までの振り返りをする事と、今後の世話の仕方について見通しをもつことを知らせる。
かかわる 32分	2 活動の振り返りをする。 3 世話をして気付いたこと、その時の気持ちについて発表する。	<ul style="list-style-type: none"> はっぱがたくさんふえたから、まびきをしたよ。 まびきの時に気を付けたのはそとぬいたよ。 水をあげるのは、朝と夕方です。 水をちゃんとやらなかったからはっぱがしおれたことがあったよ。 新しいはっぱがでてきたよ。さわってみたら、ざらざらしていたよ。 お天気がよかったので、どんどんはっぱが大きくなりました。 つるものびてきたよ。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちが世話をして気付いたこと、その時の気持ちを色別にしたカードを用意し、記入する。  <ul style="list-style-type: none"> 栽培カレンダーを用意し、カードに書き込んだものを貼っていく。 栽培カレンダーを使って、説明できているか確認し、世話の内容と気持ちが一体化しているか、助言する。
まとめる 5分	4 これからの世話のめあてについてカードに記入する。 お世話をつづけて、〇〇さんのためにきれいなはなをいっぱいさかせよう	<ul style="list-style-type: none"> これからも水やりをがんばる 花のかんさつをしていこう。 花がいっぱいさくといいな。 夏休みには、きれいな花を家の人に見てもらおう。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手意識を考えながら、これからも継続して育てていく意欲をもたせる。 家庭でも、今までのように大切に育てていくようにすることを話す。

(4) 評価規準

おおむね満足できる	努力を要する児童への手立て
【身近な環境や自分についての気付き】 植物の様子を観察して世話をしたことを思い出し、気付いたことを話すことができる。	栽培カレンダーを見て、世話をしてきたことを写真や記録カードで振りかえさせる。

(5) 板書計画

あさがおのせわについてふりかえり、これからのせわのめあてをきめよう。

これからもおせわをつづけて、〇〇さんのためにきれいなはなをいっぱいさかせよう。

かつどうのふりかえり

つ き	5がつ	6がつ	7がつ
ぎょうじ	そんないめぐり うんどうかい	ぷうるそうじ たいりょくてすと	しゅうぎょうしき なつやすみ
おせわ	たねまき ちいさいはっぱ みずやり ※カード	まびき みずやり くさとり しちゅうたて	みずやり はながさく

これからのせわのめあて

はなのしゃしん

これからのせわのめあて

はなのしゃしん

(6) 場の設定

